

クラス会・ゼミ会

報告・お知らせ

山田浩之ゼミ

山田ゼミ同窓会(先生の卒寿祝賀会も合わせ)開催

令和4年9月3日、山田浩之ゼミ同窓会が本年卒寿を迎えられた先生ご夫妻をお迎えして、79名の参加のもと、盛大に開催されました。

今回は、山田ゼミ4期生の元京大経済学部長で、本年3月まで名古屋の椋山女学園理事長森棟公夫氏のご厚意で、同大学の大教室で「ゼミ生のチームワークによる手作り同窓会」の形で行われ、多くの方からご好評をいただき



ました。同窓会に先立ち、椋山女学園の現理事長で前京大経営管理大学院教授の椋山泰生氏に、興味深い講演「制度化されたスタートアップの育成—アクセラレーター—の役割とその効果」をいただいた後、山田ゼミ1期生の藤井睦久氏の挨拶、森棟氏の乾杯により懇親会が開始されました。

ました。

お祝いの花束贈呈の後、山田先生からは、卒寿になられたとは見えないお元気がつ、いつもながらのユーモラスなスピーチをいただき、会場はあちこちで笑顔と拍手であふれました。コロナ対策としてテーブル食とした

り、逍遙の歌、琵琶湖周航の歌も音楽のみとするなど、一部制約もありましたが、先生ご持参のゼミ卒業生の会報「京友」最新号や懐かしい写真等で大いに盛り上がり、時間が経つのも忘れるほどの楽しい時間を過ごしました。

最後に、2期生の岡本昂氏の中締めの後、お互いの健康と再会を誓い合っ

て散会となりました。

幹事：和田憲二郎(S42年卒)、谷口浩章(S43年卒)、磯村辰生(S51年卒)、伊藤雅也(S53年卒)、佐藤元宣(H7年卒)

幹事：和田憲二郎(S42年卒)、谷口浩章(S43年卒)、磯村辰生(S51年卒)、伊藤雅也(S53年卒)、佐藤元宣(H7年卒)



野澤正徳ゼミ

野澤正徳先生米寿御祝いの会(ゼミ同窓会兼)開催

2023(R.5)年3月18日12時から、時計台ラ・トゥールで野澤正徳先生の米寿の御祝いの会を開催しました。ゼミの同窓会を兼ねての会となりました。野澤ゼミナールの学部1期生から10期生と大学院修了者約30名が参加しました。当日は、野澤正徳先生の御挨拶と演奏(ヘンデル、勇士は帰り

ぬ他、曲目は下記の通り)で参加者を歓迎してくれました。その後、参加者の近況報告と抱負、懇談と和やかに時が過ぎ、終了後、時計台前で記念写真(下記)を撮りました。先生はじめ参加者の笑顔が素敵でした。経済学部同窓会事務局、ラ・トゥール支配人様はじめ、関係の皆様大変お世話になり、とても良い会となりました。その後、カフェテリア ルネで歓談し、先生を御

送りしました。次は「卒寿の会」でお会いすることを楽しみに懐かしいキャンパスを後にしました。40年以上、コロナ禍もZoomで「東京野澤会」を毎年開催しています。二次会は有志で南禅寺順正で行いました。

(幹事「東京野澤会」庄司正明(7期、1977年卒、藤江昌嗣(8期、1978年卒)、松尾一佐(10期1980年卒))

バイオリン演奏 曲目

1. ヘンデル、勇士は帰りぬ
(合唱「ユダス・マカベウス」より)
 2. シューマン、二人のてき弾兵
 3. 日本の歌メドレー：荒城の月、椰子の実、ふるさと。
- アンコール、紅萌ゆる丘の花



一一会17.18期合同同窓会

開催のご報告



皆さん、こんにちは。
経済学部1979年卒の長谷川清司と申します。
投稿は初めてですが、同窓会活動は大好きで、3年前迄は東京支部に、関西に居を移してからは近畿支部に所属し、様々な行事に参加させて頂いております。
さて、今回は昨年11月に開催された、標題の件に関する報告です。
まず、一一会とは、故小野一一郎先生ゼミのOB会です。

私はその18期で幹事(宴会専門)を務めており、一期上の先輩達と、毎年11月第三金曜日に合同で同窓会を開催しており、既に、何年も続いています。

以前は、時計台のラトゥールや百万遍の居酒屋等で、開催しておりましたが、最近は「関西以外から参加する人にも便利」と言う事で、京都駅近くで開催しています。

年に一度と言う事で、17期全員、18期は10名中8名が参加すると言う同窓愛の強い会ですが、内容は参加者の近況報告を肴に、飲んで楽しむと言う会です。

そんな初めての投稿ながら、残念な報告もあります。

一昨年は欠席されながら、昨年は出席されていた17期の桑田先輩が、先日ご逝去されたのです。

図らずも、この写真の前列向かって右端がその遺影となりました。

この会報を霊前にお供えしたいと思います。 合掌

来年のゼミ開催予告

木原ゼミ
正正会 第8回総会(予告)

日時

令和6年7月13日(土)
12時～15時

会場

京都大学 楽友会館

深田弘明(昭和53年卒)

ゼミ会を発足される方への支援制度

経済学部同窓会では、退官された先生方のゼミ会を発足・復活させようとお考えの方に、ゼミ会立ち上げにかかる通信費用(案内状の送付費用等)を一部支給する支援金制度を導入しました。軌道に乗るまではゼミ会の財政が安定しないため、発起人・幹事の方がやむなくご負担されるケースもあるとお聞きし、少しでもお役に立てれば幸いと考えております。

予算の都合上、以下のような要領で運営いたしますので何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

用途 ゼミ会発足にかかるゼミ生への通信費等

金額 ゼミ会1回につき実費あるいは3万円のいずれか少ない額、最大3回まで支給。

お約束 ゼミ会開催の様子を「同窓会報」に必ずご寄稿ください。